

授業科目名	社会的養護	担当教員名	入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	3年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分		単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	核家族化の進行が家庭での扶養能力を低下させ、子育てと介護が社会問題化してきた。この領域の支援策として社会的養護の充実がなされている。子育てには保育士、介護は介護福祉士という社会的養護の専門家の役割や課題を理解してもらう。		
授業の概要	核家族化の進行が家庭での扶養能力を低下させ、子育てと介護が社会問題化してきた。この領域の支援策として社会的養護の充実がなされている。子育てには保育士、介護は介護福祉士という社会的養護の専門家の役割や課題を理解してもらう。 講義形式で、①現代社会における社会的養護の意義 ②社会的養護と児童家庭福祉 ③施設養護の実際 ④社会的養護の現状と課題を学習する		
テキスト	「改訂養護原理」入江実著 (さんえい出版)		
参考書・参考資料等	特に指定せず		
成績評価の方法	○参加意欲：20% ○新聞記事によるレポート：25% ○定期試験：55%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方		
第2回	1.現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷		
第3回	2.社会的養護の基本 (1)子どもの人権の擁護と社会的養護		
第4回	2.社会的養護の基本 (2)社会的養護の基本原則		
第5回	2.社会的養護の基本 (3)社会的養護における保育士等の倫理と責務		
第6回	3.社会的養護の実施体系 (1)社会的養護の制度と法体系		
第7回	3.社会的養護の制度と実施体系 (2)社会的養護のしくみと実施体系		
第8回	新聞記事を教材とした学習		
第9回	4.社会的養護の対象・形態・専門職 (1)社会的養護の対象		
第10回	4.社会的養護の対象・形態・専門職 (2)家庭養護と施設養護		
第11回	4.社会的養護の対象・形態・専門職 (3)社会的養護に関わる専門職		
第12回	5.社会的養護の現状と課題 (1)社会的養護に関する社会的現状		
第13回	5.社会的養護の現状と課題 (2)施設等の運営管理 (3)被措置児童等の虐待防止		
第14回	5.社会的養護の現状と課題 (4)社会的養護と地域福祉		
第15回	全体のまとめ		
定期試験	筆記試験		